

【3】金属治療の問題（主にアマルガム）

[3-1]アマルガム

咀嚼時の物理的接触、ガルバニック電流、コヒーラ現象などにより、気化・溶出した水銀が体内に取り込まれていきます。しかし、その水銀に対する反応は人により異なり、敏感な人とそうでない人と千差万別で、大きな差となって表れます。大きな影響を受ける人の場合、以下のような症状を引き起こすとされています（“敏感”という便利な言葉で表現しましたが、実際はいくつかの条件が重なった時に発症するのではないかと考えます。例えば、噛み合せのズレ度、腸内環境の差など）。

■アレルギー症状

金属アレルギー、アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症

■慢性的な症状

疲労感、偏頭痛、腹痛、めまい、冷え症、肩・首筋のこり、胸・腰・背中・股関節・足等の痛み、鼻づまり、目の重み、不眠症

■精神的な症状

不安感、イライラ、ふさぎこみ

■その他

高血圧及び低血圧、頻脈、不整脈、口内炎、胃腸障害、しびれ、視覚障害、尿道障害、甲状腺異常、全身性エリテマトーデス、強皮症、関節リウマチ、アルツハイマー、震え、発作、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症・・・

なお、スイスの医学雑誌によると、アマルガムに使用されている水銀は体内の免疫機構を傷害していて、これにより免疫の平衡バランスを損失することになると述べています。つまり、病気やがんなど腫瘍に対しての防御機構が失われると警告しているのです。D-③

さらに・・・

- ・銅は筋無力症の原因物質と考えられています。口中の水銀アマルガムから溶出した銅による中毒、ジストニアの患者の写真がインターネット上、“ローリー・ラモス_水銀”と検索すると出てきます。A-③ <http://www.nomercurymouth.com/Casehistories/SPMSUL.pdf> (P.171～)
- ・水銀が、血管壁の中のアテローム硬化病変部をつくる酵素（ホスホリパーゼ D）を活性化させる。つまり、動脈硬化を促進する。A-③

メカニズム解説例は・・・

- ・大部分の水銀中毒に罹っている人々は、絶え間なく疲労を感じており、一晩に8時間以上眠っても、目が覚めた時から疲れています。水銀は硫黄を含んだ部位と結合しやすいという特性があり、水銀がヘモグロビン分子の中のチオールに結合している場合、量は十分あるのに、酸素を運ばない役立たずのヘモグロビンが多いことになる。そのためヘモグロビンの数値が正常であっても、水銀によって能力を奪われ、本来運ぶべき量の酸素を運ぶことができない。これが水銀被曝者に見られる慢性疲労が発症する理由である。A-③
- ・体内でメチル化したメチル水銀は長年月を経過するうちに分解されて無機水銀に変わってしまい、それが神経細胞内に存在している。もともとあってはならない無機水銀が神経細胞内にある以上、単にメチル水銀のみならず無機水銀それ自体も神経細胞に対して有毒性を発揮し、いずれは神経細胞自体が崩壊していくであろう可能性を示唆している。A-⑥
- ・小脳などに若干侵入していることはある程度明らかである。とくに脳下垂体は多量の放射活性を示しており、とくにその前葉に著しい。脳下垂体の働きから考えると、この事実は全身の内分泌系器官や組織に対しても、至大な影響を与えていく可能性を示しているのである。A-⑥

- ・脳の場合にも脳血管関門の破壊がなくともアミノ酸を取りこむ為、同時にメチル水銀も脳内に入っていき可能性が考えられるというのである。この場合、肝臓から胆汁中へ排泄されるメチル水銀グルタチオンも、分解してメチル水銀システインとなり、腸から再吸収されるという一つのサイクル形成が可能となるであろう。また低分子のメチル水銀システインの形のものは、腎糸球体で一度濾過されたとしても、細尿管で他のアミノ酸と同様に再吸収され、アミノ基をアセチル化した形にならない限り尿中へ直ちに排泄されず、もう一度心臓に戻って、脳を含めて全身臓器へと再分布されていくであろう。A-⑥

最後に、1988年2月に、世界の重金属の毒物学会における主要な権威者が共著となり、参考図書「有毒金属の生物学的追跡監視」を公表した。この中で著者たちは、歯科治療用アマルガムの詰め物から放出される水銀被曝について、次の結論を記している。

- 1) アマルガムの表面から、口中へ水銀蒸気を放出している
- 2) 口中の水銀放出の割合は、咀嚼と歯みがきによるアマルガム表面のストレスにより増加する
- 3) 詰め物の表面の層は食事などのストレスの後、直ちに修復せず、完全に表面の層が回復するまでには数時間かかると思われる。
- 4) アマルガムから放出される水銀は、体の組織中への蓄積及び尿中排泄の増加に至る
- 5) アマルガムからの水銀の放出率は、一般人の中の検死組織で見つかった水銀濃度、およびアマルガムの詰め物からの脳および尿の水銀濃度の上昇と一致しているように見える
- 6) 歯科用アマルガムからの水銀の放出は、無機水銀被曝の主要な原因である A-③

[3-2] 確認方法

■尿中のポルフィリンの検査

重金属中毒の最高の指標。尿中のポルフィリンの排出を監視することは、処置の成功を測定するよい方法。A-②

■毛髪ミネラル検査

水銀中毒に罹っているかどうかを精細に調べる際には、この分析が役立ちます。但し、結果の解釈に注意を要する。A-②

ら・べるびい予防医学研究所 <http://www.lbv.jp/application/>

ドクターズ・データ社 <http://www.detox.jp/ddi/tests/hair.html>

■ガルバニー電流発生有無のセルフチェックポイント

- 1) 2本以上、金属の詰め物がある（セラミックでも裏打ちに金属が入っていると生じる）
- 2) 色の異なる金属が入っている
- 3) 上下で金属同士がぶつかっている
- 4) スプーンを舐めるとピリッとする
- 5) 歯茎に金属色がついている

* 金属組成はメーカーによっても異なるので、見た目が同じアマルガム同士やパラジウム合金同士でもガルバニー電流が発生する場合もある。

* ガルバニー電流は、体の痛みや疲れ、不眠、イライラといった症状の原因になることが指摘されている。その他、難治性の湿疹、掌蹠膿疱症様の手掌や足裏の症状、電磁波過敏症や化学物質過敏症、各種アレルギー、光視症なども起こる可能性がある。様々な神経症状や不整脈の原因にもなりうる。D-③

最後に、検査結果解釈時に必要な予備知識情報をいくつかピックアップ。

- ・水銀蒸気は容易に脂肪に溶解し、血液から体内組織へと急速に移行している。このため水銀蒸気に被曝しても、血液中の水銀濃度は低い場合がある。しかし、体内組織内には、大量の水銀が蓄積されている可能性が大きくなる。従って、血液中と体内組織では水銀濃度が一致しない。また、尿中で見られる水銀濃度も、血液中にあった水銀なので体内組織の中の水銀濃度と対応させられない。
- ・水銀が体の化学状態を損なっているならば、血糖の上昇とコレステロールの減少、または中性脂肪の急上昇を見るかもしれません。
- ・中性脂肪が100~300ポイント上がる一方で、血糖とコレステロールが正常範囲にあるケースは、しばしば水銀の存在による体の反応と考えられます。以上 A-②（詳細は書籍をご覧ください）

[3-3] 対処法

アマルガムの適切な除去方法として、以下のことは最低限必要なこととされています。A-④

- 1) ラバーダムというゴムシートで患部の歯以外を覆う処置をする。
- 2) 口腔外バキュームなどを使い、削る際に出る金属塵をできるだけ減らす
- 3) 呼吸器や目の粘膜を水銀のガスから守る為、患者さんの目、鼻をタオルやマスクで覆う
- 4) 術者はグローブ、マスク、ゴーグルを着用し、自分も守る

なお、除去の際、以下の点に気をつけないと、蓄積された毒素のトラブルに遭遇します。

- 1) 電流の強い順番（最初マイナス電流、続いてプラス電流）に、詰め物を除去したか。
- 2) 詰め物の代替品は、体が生理的に受け入れ可能な材料が使われたか。
- 3) 栄養的な行動指針が守られたか。

1) ~ 3) の答えが否定的であれば、蓄積された毒素による悪影響を是正することは難しくなり、快復するのに時間がかかるので十分注意してください。

私は、最も電流値の高い四半部（口の四分の一）から、そこにある詰め物が最初に取り除かれれば、患者は良くなる可能性があると感じました。全ての四半部から、マイナスの電流を持つ詰め物が除去された後、プラスの電流値を持つ詰め物を取り出します。

この順序—アマルガムの詰め物の、順序正しい除去—に従うことが非常に効果的な方法であると証明されました。水銀中毒について聞き、あわてて詰め物を無作為に除去してもらったのに、どんな改善も示していない何人かの患者がいます。これは、順序正しく詰め物を除去しなかったためです。

急ぎ過ぎて失敗しないで下さい。A-②

その他参考書籍からポイントをいくつかピックアップ。

- ・アマルガムの除去手続きは内科医、できれば心臓病の専門家と協力して、適切な技術に精通している歯科によって行われるべきである。心血管疾患の病歴のない人、あるいは他の重病でない人はそれほど注意深く除去する必要はない。A-③
- ・銀歯が多数あってもカギとなる銀歯を外すと、かなり楽になるケースがよくある。D-①
- ・体内に入った水銀の除去法は、水銀と硫黄との結合が早いという特徴をいかして、硫黄を含んだ食材を食べることも良い方法です。その代表としては、ねぎ、タマネギ、そして中国パセリ（コリアンダー、シャンツァイ等）で、新鮮なものほど効果があります。またニンニクも硫黄を含んでいるので有効ですが、生で食べると胃を荒らすので注意してください。A-②
- ・体に蓄積した金属を排出する方法は、食養によるデトックスとサプリメントによるデトックス。前者は、半年くらいを限度とした玄米食、後者は、有機ゲルマニウムが効果的です。有機ゲルマニウ

ムは、朝鮮人参、サルノコシカケ、ニンニクなどに含まれる成分で、サプリメントとして市販されています。重金属でありながら、重金属を排毒する働きがあります。そのため、水俣病をはじめとする有機水銀中毒の解毒に利用された歴史もあります。タングステンという金属にも重金属の解毒効果が期待できます。A-⑦

最後に、歯の詰め物だけでなく日常生活品の中の水銀を含んでいるものにも注意が必要です。

大きな塩水魚、毛染め薬、マスカラ、美白クリーム、チメロサール（ワクチンの中に入っている防腐剤）、殺菌剤、ペンキ、染料、インクの黄色、防かび剤、木の防腐剤、種子の殺菌剤、除草剤、殺虫剤、接着剤、エアコンのフィルター、床ワックスと光沢剤、入れ墨など・・・A-②
